

家族の構造と転換

性差別を考える

【事前課題】

下記の意見から、自分の意見に近いものを2つまで選択し、それを選択した理由を200字程度で記しなさい。

選択した意見の記号を明記すること。

- A：男女の性差は、種の再生産に不可欠な自然の生物的身体の本質である。自然の身体に差がある以上、社会的にも一定の性別役割分業があるのは当然で、不当な差別とは言えない。
- B：現代社会では、個々人は生まれながらの属性（性別・人種・家柄等）ではなく、自ら獲得した業績（学歴・職業・地位等）によって評価・処遇されるべきだ。しかし実際の社会では、女性は男性より不利な地位・立場におかれる場合がある。（男性にも男性ゆえのプレッシャーに晒される場合もある）
- C：性差は、自然の属性（セックス）であるだけでなく、社会的に作り上げられた属性（ジェンダー）でもある。ジェンダーが社会的に構築されたものである以上、人間としての平等（ジェンダー・フリー）の観点から再構築・是正は可能だし、必要だ。
- D：子どもを生み育てる女性は、その身体的特質に基づき、男性以上に自然との共生や平和・寛容、人間の生命やwell-beingに敏感な感受性をもつ。そこで女性は、環境破壊・格差・戦争・過労死といった現代社会の諸課題に対しても、男性以上に敏感に抵抗する潜在的主体性がある。
- E：どれも一定の妥当性があり、選択できない。
- F：その他（具体的に）。